

第1回「大淀川水系流域治水協議会」開催

近年、気候変動の影響等により災害の頻発化・激甚化が懸念される中、大淀川において、今後の水災害リスクの増大に備えるために、これまでの治水対策に加え、流域全体のあらゆる関係者が協働し、水害を軽減させる治水対策「流域治水」を計画的に推進することを目的とした協議会を設置しました。

第1回協議会では、協議会規約、流域治水プロジェクト策定に向けたスケジュールの確認を行うとともに意見交換を行いました。

開催概要

- 開催日: 令和2年9月28日(月)
- 会場: 宮崎河川国道事務所 会議室

議事内容

- 協議会の設立及び規約の合意
- 流域治水プロジェクト策定に向けたスケジュールの確認
- 流域治水対策の情報共有

主な意見等

- 内水被害軽減対策として排水ポンプ場を整備予定
- 雨水貯留浸透施設の整備による流出抑制の推進
- 水害対策として、遊水地や二線堤等の整備をした方がよい
- 堆積土砂による洪水被害が懸念される
- 国土強靱化対策による掘削等による効果を地域住民も実感されている
- 防災情報の充実化、住民の防災意識の啓発に引き続き取り組む
- 都市計画と治水対策が連携することが重要
- 流域治水対策におけるハード対策と河川整備計画の関係は如何に

協議会の構成委員

	宮崎市長
	都城市長
	小林市長
	曾於市長
	三股町長
	高原町長
	国富町長
	綾町長
アドバイザー	宮崎大学名誉教授 杉尾 哲
宮崎県	危機管理局長
	河川課長
	都市計画課長
	美しい宮崎づくり推進室長
	宮崎土木事務所長
	都城土木事務所長
鹿児島県	小林土木事務所長
	高岡土木事務所長
	災害対策課長
	河川課長
	大隅地域振興局 建設部長
	宮崎地方气象台長
	宮崎河川国道事務所長

